

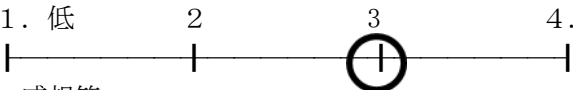
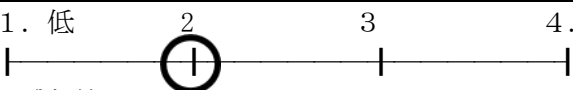
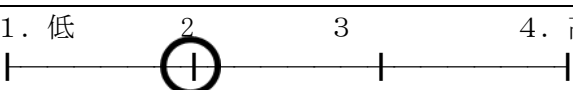
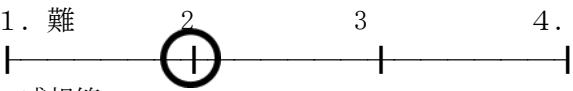
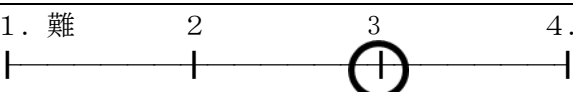
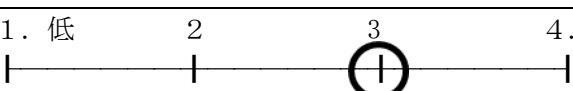
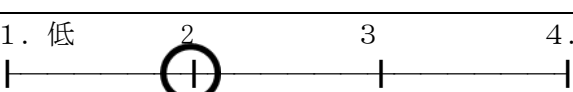
情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	高校1年生
領 域	HR (学級活動)
指導項目	携帯電話やスマートフォンによるトラブルを防ぐ

情報モラル指導モデルカリキュラム (http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html)			
指 導 分 野	安全への知恵		
コ ー ド	d5-1	指 導 事 項	情報社会の特性を意識しながら行動する。

授業前の生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による携帯電話やスマートフォンによるトラブルが増えている。
期待される生徒の変容 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話やスマートフォン利用する際に、マナーやルールに従って行動できる。 メディア管理能力や危機管理能力を高め、トラブルに巻き込まれない。
生徒の変容を促すための授業の工夫 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"> 中・高生のスマートフォンによるトラブルが大きな社会問題になっていることを紹介するとともに、実際に本校で起きた事例等を挙げ、身近な問題であることを意識させる。 高校生が被害にあった事件の例を挙げ、どういう行動をすればトラブルに巻き込まれないかを生徒に考えさせる。
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	<ul style="list-style-type: none"> スマホ・ケータイトラブル読本 (プリント教材として配布)

評価

生徒について	生徒の 興味関心の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 本校で実際に起きた事例を紹介したことで、身近な出来事としてとらえ、関心をもつ生徒が増えた。
	生徒の理解度	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 知識としては理解しているが、行動に移すことができない生徒もいる。
	生徒の 変容の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 すぐに成果が出るのは難しく、継続的に指導していく必要があると感じた。
授業について	事前準備の難易度	1. 難 2 3 4. 易  理由・感想等 生徒に分かりやすく伝えるための工夫が難しかった。
	指導者にとっての 授業展開の難易度	1. 難 2 3 4. 易  理由・感想等 クラスによって反応や意識の違いがあった。
	授業の「ねらい」の 達成度	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 伝えたいこと教えたいことはおおむねできた。
	指導方法の 効果の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 プリントや板書での指導だったので、パワーポイントなどで生徒の視覚に訴える方がよいかもしれない。

<実践の感想及び反省点等>

クラスによって反応や意識の違いが見られた。身近な問題であることはある程度理解はできたが、自分自身の問題として置きかえて考える生徒はまだ少ないように感じた。生徒一人一人のマナー・モラル向上につなげることは難しく、メディア管理能力の育成にはまだまだ時間がかかるが、粘り強く指導しなければならない。

実践例

配当時間		学習のすすめ方	指導のポイント
導 入	10 分	1 本校で、携帯電話・スマートフォンでのトラブルで指導になったケースを確認する。	・身近な問題であることを意識させる。
展 開	35 分	2 注意すべき点（6点）について考える。 ① SNSの利用時には、公開を制限すること。 ・公開の限定機能を使う。 ・知らない人には友達申請しない。申請が来ても断る。 ② 個人が特定される情報は載せない。書かない。書かせない。 ・プロフィール欄への記載は慎重にすること。 ・個人情報を書き込まない。 ・友人やグループの仲間にも気を配る。 ③ 写真は撮らない。載せない。撮らせない。 ・インターネットに載せた写真は拡散する可能性がある。 ・一度拡散したものは、回収することは不可能である。 ・一枚の写真でネットが「炎上」し、周りの人に迷惑をかけることがある。 ④ ネット上ではふだん以上に丁寧な言葉を使い、丁寧な対応をすること。 ・ふだんと同じ感覚のつもりでも、ネット上では誤解が生じる場合がある。 ⑤ 不適切な書き込みをしない。 ・他人を困らせる書き込みや、誹謗中傷をしない。 ・冗談が冗談ですまなくなってしまうことがある。 ⑥ 金銭に関わることは要注意。 ・悪質なサイトや不審なサイトには近づかない、騙されない。 ・課金等は契約が成立し、詐欺にはならない。 ・心当たりのない請求が届いた場合は、保護者や警察に相談する。	・プリント教材を配布する。
ま と め	5 分	3 携帯電話・スマートフォンを利用する際には、モラルやルールが存在することを確認する。	・自分たちの身近な問題として捉えさせ、生徒一人一人がメディア管理能力や危機管理能力を養うことの重要性に気付かせる。